

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.27.5.16

No.4

マーヒル・エルシリビーニー教授講演会

みんな、こんにちは！カイロは、日に日に日差しが強くなり、本格的な夏に向かってい実感します。5月11日（月）、カイロにしてはめずらしく雲が多い朝だなあと思っていたら、ゴロゴロと雷が鳴り始め、そのうち雨が降り出しました。その雨は、ポツポツではなくザーと降り出し、10分程度でやみました。以前、お伝えしたようにカイロの年間平均降水量は約30mmで、年間10日程しか雨が降らないと言われていいますので、とても貴重な日になりました。この雨は1か月ぶり、私たち日本人だけでなく、エジプト人もめずらしそうに空を見上げていました。

さて、5月7日（木）に、カイロ大学の**マーヒル・エルシリビーニー教授**が、カイロ日本人学校で講演をしてくださいました。マーヒル教授は、**広島の被爆体験を描いた漫画『はだしのゲン』**の第1巻をアラビア語に翻訳し、今年2月に出版された方です。マーヒル教授は、広島大学に留学していた時に原爆や日本の太平洋戦争のことを知ったそうです。

マーヒル教授は、日本の戦時中のように物が無い幼少時代を過ごしました。貧しいながらも一生懸命勉強し、カイロ大学の日本語学科に入学し、日本に留学をしました。講演の最後に、カイロ日本人学校の児童・生徒に次のメッセージを残してくださいました。

- ・ **日本人に生まれてよかった**（ラッキー）と思ってほしい。

日本はとても平和で、学校も立派で恵まれている。平和のことをよく考えてほしい。

- ・ **平和は、自分の心からつくられる**。相手に悪い気持ち（悪意）をもたないようにしてほしい。相手が間違っても許す、自分が悪いことをしたら謝る。相手が謝ってきたら水に流す（許す）ことが大切である。

- ・ 戦争はしてはいけない。戦争に勝ち負けはない。**戦争をしたらみんな負けになる**。

- ・ **頑張ること（努力）が大切である**。頑張れば、周りの人が助けてくれる。道は開かれる。だから頑張ってください。



マーヒル教授



アラビア語版『はだしのゲン』

私が、今住んでいるエジプトを含む中東地域は、昔も今も紛争が絶えません。エジプト国内だけを見ても、実は**毎日テロ事件が発生**し人が亡くなっています（カイロ市内は大丈夫です）。そのような地域の人たちに、**原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを『はだしのゲン』を通して伝えることは、とても意義がある大切なことだ**と思いました。そして、**世界で唯一の被爆国である日本に生まれた一人として、自分は世界の平和のために何ができるのだろう**と考えてしまいました。